

組合幹部悉く蹴首さる 川崎造船所に於ては既掲の如く五日兵庫工場製鋼部が要求を提出して謬もなき拒絶を興へらるるあり、動搖中、同日退場時刻に當り會社は突如として、電氣、造船、造機の各工作部、兵庫分工場鑄鋼課に日りて左記職工を蹴首したり。

▲電氣工作部 青柳善一郎、伊藤友次郎、荒井柳二郎、前田儀一、尾川林藏、兒山富太郎、山邊三男也

▲兵庫工場鑄鋼課 行政長藏、柴田勘三郎、安倍一二、伊藤春雄、柴田富太郎、戸田勝一、中川藤太郎

▲造船工作部 野倉萬治、造機工作部須々木純一

右蹴首の標準は労働団体の幹部たるにあり 則ち電氣工作部の青柳善一郎氏以下は悉く電正會の幹部にして、兵庫分工場の行政長藏氏は神戸友愛會の長老、柴田富太郎氏は友愛會神戸聯合會の主事代理、造船工作部の野倉萬治氏は同神戸聯合會長にして、造機工作部の須々木順一氏は友愛會關西労働同盟會長の要位に在るの人、其他の蹴首者亦何れも組合の幹部乃至活動家として知られし人々なり。蹴首するに當り會社は其各個を事務所に呼び「都合に依り解雇する旨の辭令と當日迄の日給及十四日分の手當とを給し、柴田、行政等早退せる者に對しては書面を以て同様の通知を爲せり。かくて蹴首

されたる人々は同夜直ちに新開地カフェ・ナンヨウに集まり、翌七日は平日通り出勤すべき旨を申告せたり。

造機工一進會の組織 一方同造船所造機部旋盤工場職工約八百名は、電工部の要求提出に共鳴し五日夕刻より會下山下の互助俱樂部に委員會合し深更まで協議の結果六日午後七時湊東俱樂部の樓上にて新に造船機工組合一進會の總會を開き井上末次郎氏司會者となり出來直太氏開會の辭、岸本、平田其他の所感、久留、行政、石橋諸氏の應援演説あり、左の綱領と一進會々則を協議し九時半閉會せり。

## 綱 領

我等は團結の力に依り合理的方法を以て虚偽と矛盾に充ちたる現代社會を改造し速に産業自治制の確立と争はれたる人間性の恢復を圖らん事を期す。

尙ほ同會は左の交渉委員を選舉し七日正午を期し電工部同様の要求を川崎本社重役に提出するに決したり。

交渉委員出來直太、桑田喜三郎、巽田憲次郎、岡本三郎、矢島豊三、中塚廣太郎、西田長太郎、山本鶴松、書記岡本正輝、同佐野文治、同井上末次郎